

上越市から2件採択

県スタートアップ
支援補助金事業 女性経営者が企画

県が革新性ある技術、新規性の高いビジネスアイデアを有するスタートアップを支援する補助金事業の採択結果が20日公表され、上越市から2事業者が採択された。

LAUGH(ブラウ、上越市)は、性や生殖に係る健康課題や、特定妊婦の増加といった社会課題に着目し「プレコンセプションケア」をはじめとした健康情報教育プログラム

「清里いばしょベース Chariya(ちゃや)」は、補助金の活用で機能拡張と外部連携を目指す。今後、居場所・学びの場へとつなげる相談窓口を開設する予定だ。

両者とも経営者は女性。取り組みを支援し

た北信越地域資源研究所(同市大和5)の平原匡社長は「バイタリティある女性起業家の出現は地域を明るくする。社会課題解決はマネタイズにハードル

があるが、いずれも企業、行政での在職経験を生かしながら、現実的な解決策を模索し、企画に盛り込んでい」と話している。